

もう一度、君に生きてほしい。

人とロボットの奇跡の恋を描く
劇場中編アニメーション



【監督】 牧原亮太郎 【脚本】 木皿泉 【キャラクター原案】 咲坂伊緒

【アニメーションキャラクター】 北田勝彦 大島ミチル 【音楽】

【制作】 WIT STUDIO

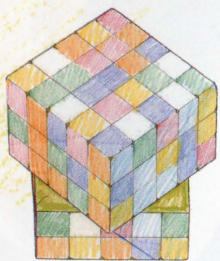
HP hal-anime.com Twitter @halanime

©2013 ハル製作委員会

【キービジュアルアートディレクター】 清川あさみ

2013年6月8日(土)ロードショー

NOT FOR SALE



「ハル」とは…?



近未来の京都で生まれた、 人とロボットの奇跡のラブストーリー

『アオハライド』『ストロボ・エッジ』で別冊マーガレット(集英社)にて年代問わず女子の絶大な支持を得る、漫画家・咲坂伊緒が描いた、ハルとくるみ。温かくも愛らしい2人のキャラクターが、2013年6月、アニメーションとして動き出します。脚本は、『すいか』や『Q10』など、さわやかでありながらも深い人間像を描く、木皿泉。

『四畳半神話体系』『ギルティクラウン』で各話絵コンテ、演出を務め、圧倒的なクオリティの映像を作り上げた牧原亮太郎を監督に迎え、プロダクション IGから2012年6月に独立した、WIT STUDIOが作り出す、初の劇場中編アニメーション作品です。

本作の世界観を表現するキービジュアルのアートディレクターには、写真に刺繍を施すという独特な手法を用いるアーティスト・清川あさみが参加しています。

事故で最愛のハルを失ったくるみとハルのかわりとなるロボハル。
ロボットと人が心通わす奇跡を描いた、号泣必至の近未来ラブストーリーです。

ストーリー

「くるみに、生きていることを思い出させるために、 ボクは人間になった」

ハルとくるみの幸せな日常。

いつまでも続くと思っていた日々は、飛行機事故で突如終わりをつけた。
けんか別れのまま、最愛のハルを失い、生きる力も失ってしまったくるみ。

彼女の笑顔をとるため、
ヒト型ロボットのQ01<キューイチ>は、ハルそっくりのロボハルとしてくるみと暮らすことに。
ロボハルの頼りは、かつてくるみが願い事を書いた、ルービックキューブ。

色がそろそろと溢れてくる、くるみの想い。
少しずつ打ち解けるロボハルとくるみだったが…。

